



2010年3月17日

各 位

会 社 名 株式会社クレディセゾン
代 表 者 名 代表取締役社長 林野 宏
(コード番号 8253 東証第一部)
問 合 せ 先 広 報 室 長 大阿久学
(TEL. 03-3982-0700)

包括的業務提携に関する基本合意のお知らせ

当社と株式会社セブン&アイ・フィナンシャル・グループは、それぞれ2010年3月17日付の取締役会において、クレジットカード事業に関する包括的業務提携に向けて具体的検討を進めることに合意することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

当社は、クレジットカード業界において、流通系カード会社として大手の一角を担い、「サービス先端企業」を目指してお客様第一主義のサービス開発に努めてまいりましたが、今後予測されるクレジットカード業界の環境変化を睨み、イシュー事業およびプロセッシング事業の双方で、マーケットニーズに適した拡大成長を模索しております。

2006年6月に株式会社セブン&アイ・ホールディングスの完全子会社となった株式会社そごう・西武とは、当社創業以来の相互営業協力を継続する関係であり、今日の当社発展のベースとなっております。また、同社との提携カードも順調に拡大してまいりましたが、経済環境の激変により百貨店事業も変革が求められているなか、今後も継続してカード会員により魅力的なサービスをご提供するために、今般、株式会社セブン&アイ・ホールディングスの掲げる「新・総合生活産業」に貢献する提携関係へ軸足を移し、提携協議を進めてまいりました。

セブン&アイグループも、株式会社そごう・西武との提携によるカード事業を通じた当社のカード事業育成に関する実績を高く評価し、今後の両社のイコールパートナーシップ精神に基づいたカード事業推進に大きな期待を寄せています。

株式会社セブン&アイ・フィナンシャル・グループと包括的業務提携を行い、当社がこれまで培ってきたカード事業に関するプロセッシングやマーケティングノウハウの提供と、流通最大手としてのセブン&アイグループの幅広い顧客基盤と顧客接点を掛け合わせるにより、既存のカード会員様の満足度向上を果たすとともに、将来的に1,000万会員規模のカード会社の誕生を実現させ、両社の成長機会をより確実なものとしたいと考えております。

2. 業務提携の内容等

(1)現在、当社が株式会社そごう・西武との間で行っている提携カード事業の合弁会社化

現在当社が発行会社となっている当該カード事業を、当社 100%子会社（2010 年 8 月設立予定）に吸収分割し（2011 年 4 月 1 日予定）、同時に株式会社セブン&アイ・フィナンシャル・グループに株式 51%を譲渡、以降両社は当該合弁会社を通じて、サービス強化を図りながら、当該カード事業を推進してまいります。合弁会社の代表取締役社長は、当面、当社から派遣いたします。

尚、合弁会社の名称、業績見通し等詳細は未定であり、決定次第、本契約（2010 年 8 月）までにお知らせいたします。

(2)上記合弁会社による株式会社セブン&アイグループにおけるカード事業の展開

合弁会社は、株式会社セブン&アイ・フィナンシャル・グループの子会社である株式会社アイワイ・カード・サービスとのカード事業統合（2013 年 3 月までを目途）やセブン&アイグループ内の共通ポイントの導入等の検討を今後開始し、セブン&アイグループのカード会社として事業を展開してまいります。

(3)戦略的協業

当社によるセブン&アイグループへの会員送客に関する協力、ネット連携及び相互送客、両社による金融商品に関する協力、セブン&アイグループのアジア事業展開へのカード事業協力等、両社が双方メリットある分野での協力も今後検討を進めてまいります。

(4)合弁会社の概要

(1) 名 称	未定
(2) 所 在 地	未定
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役は株式会社クレディセゾン及び株式会社セブン&アイ・フィナンシャル・グループが各々1名を指名（予定）
(4) 事 業 内 容	クレジットカードイシューア事業及びこれに付随する業務
(5) 資 本 金	1 億円（予定）
(6) 設 立 年 月 日	2010 年 8 月（予定）、（営業開始日: 2011 年 4 月 1 日（予定））
(7) 決 算 期	3 月末（予定）
(8) 出 資 比 率	株式会社クレディセゾン：49% 株式会社セブン&アイ・フィナンシャル・グループ：51% (2011 年 4 月 1 日予定)

3. 業務提携の相手先の概要

(1)	名 称	株式会社セブン&アイ・フィナンシャル・グループ
(2)	所 在 地	東京都千代田区二番町 8 番 8 号
(3)	名 称	代表取締役社長 氏家 忠彦
(4)	所 在 地	金融関連事業を営む会社の事業活動の支配・管理
(5)	資 本 金	10 百万円
(6)	設 立 年 月 日	2008 年 1 月 11 日
(7)	大株主及び持株比率	株式会社セブン&アイ・ホールディングス
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	<p>資本関係</p> <p>当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありませんが、当該会社のグループ会社である株式会社そごう・西武は当社の株式を 4,100 千株保有しております。また、当社が、当該会社の親会社である株式会社セブン&アイ・ホールディングスの株式を 6,850 千株、当該会社のグループ会社である株式会社ロフトの株式を 1,857 株保有しております。尚、それ以外の当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。</p> <p>人的関係</p> <p>当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。</p> <p>取引関係</p> <p>当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありませんが、当該会社のグループ会社である株式会社そごう・西武および株式会社ロフトと当社の間には、それぞれ提携カード発行に関する取引があります。尚、それ以外の当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。</p> <p>関連当事者への該当状況</p> <p>当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。</p>

4. 今後の見通し

2010 年 3 月期および 2011 年 3 月期の業績に与える影響はございません。2012 年 3 月期の影響は判断次第お知らせいたします。

(参考) 対象カード事業の主な営業数値

カード	会員数	ショッピング取扱高
ミレニアムカードセブン クラブ・オンカードセブン	303 万人 (2009 年 9 月末)	6,820 億円 (2009 年 3 月期)
当社発行全カード	2,796 万人 (2009 年 9 月末)	3 兆 8,910 億円 (2009 年 3 月期)

以 上

包括的業務提携の概要



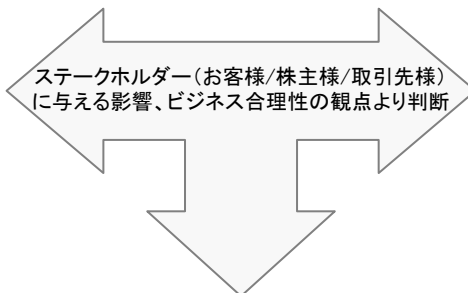
セブン&アイグループ

- 金融と小売の融合による新たなビジネスモデルの創出
- グループ小売各社へのマーケティング貢献



クレディセゾン(CS)

- クレジットカード事業における新たな成長機会の追求
- そごう・西武提携カード会員へのサービス機能向上



イコールパートナーシップの精神での クレジットカード事業に関する包括的業務提携に基本合意

1. そごう・西武との提携カードイシュー事業の合併事業化

- ・CSのカード事業分割と合併会社設立(7&i 51:CS 49、社長は当面CS)
- ・プロセッシングはCSが受託/セブン&アイグループメリットの付与

2. セブン&アイグループでのカード事業展開

- ・アイワイ・カード・サービスとの事業統合(2013年3月までを目途)の検討開始
- ・セブン&アイグループ内の共通ポイント構想の実現

3. 戦略的協業

- ・ネット等を活用したマーケティング連携による相互送客
- ・アジアでの海外事業展開におけるカード事業での連携

流通最大手の
幅広い顧客基盤と顧客接点を提供

マーケティング、プロセッシング等
カード事業のノウハウを提供

カード事業を金融事業の中核として育成

1,000万人規模のカード会員化
(「そごう・西武:300万人」+「アイワイカード:300万人」+ α)

クレジットカード業界におけるプレゼンス拡大